

上を向いて歩こう (2)

三宅 慶一

今は秋。

鴨川や植物園の探鳥散歩のおり、上を向いて歩こうではありませんか。

それはなぜか、ツバメ類の集団が見られるかもしれないからであります。



3



4

この2枚の写真、よく似ていますね、同じ種類でしょうか

上空を直線的に飛んでいけば、速くて、肉眼ではその差（種類）が分かりませんね



2



1

この2枚の写真は 尾羽が長く燕尾ですから、ツバメであると識別できますね。よくみると、顔、腹部と尾羽の様子が違い、種類が違うのが分かります。分かる、ということは、写真だからです。上空を直線的に飛翔しているのは、なかなか分かるものではありません。

今は秋、ツバメ 4 種を識別しよう

さて、ツバメ類4種（ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ショウドウツバメ）は、日本で繁殖するため、春に日本列島を北上します。繁殖を終えると、秋、日本列島を南下します。いわゆる夏鳥であります。ただし、ショウドウツバメの繁殖地は北海道であり、コシアカツバメの繁殖地は関東以西が多い。

京都では、春と秋に、移動中の集団（4種）を見ることができます。

わたくしは、春は、ツバメとイワツバメの集団を、秋は、コシアカツバメとショウドウツバメの集団を、植物園上空、北区鴨川上空でしばしば見ます。

いま9月中旬です、夏季、日本各地で繁殖を終えたツバメ類が日本列島を南下しているところがあります。

上空通過の場合、あっという間にいなくなり、なにが飛んでいたのか識別はとても難しいものです。低空飛翔のとき、旋回飛翔をしているときは観察する時間があり、識別できるチャンスがあります。なぜなら、それは採餌中であるからです。しばらくのあいだ、この付近から離れないでしょう。肉眼では確認できませんが、そこは浮遊昆虫が群れている場所であるからです。



浮遊昆虫群に突入するところ 画面上の小斑点は、浮遊昆虫 ツバメは 何種？ 4



ぼけた斑点は、浮遊昆虫 ツバメは 何種？

4



ぼけた斑点は、浮遊昆虫 ツバメは 何種？

2

採餌のときは、集団で円を描き飛び交っています。また急に方向転換もします。空中で踊っているようにみえます。

浮遊昆虫が少なくなるまで、しばらくの間、ツバメ類の行動が観察できるでしょう。

運が良ければ、ツバメ、コシアカツバメ、ショウドウツバメ、イワツバメが同時にみることができるでしょう。それぞれ種類によって、行動（飛翔）に違いがあるので観察は楽しいものとなります。

識別の要点は、とても簡単にいうと

- ・ 体格と尾羽の長さ
 - 体が大きくて尾羽が長い：ツバメ、コシアカツバメ
 - 体が小さくて尾羽が短い：イワツバメ、ショウドウツバメ
- ・ 腰部の斑点
 - ある：コシアカツバメ、イワツバメ
 - ない：ツバメ、ショウドウツバメ

以上の点を確認すれば4種が識別できます

他に付け加えると

- ・ 腹面の模様は
 - 模様や斑点がなく均一：ツバメ、イワツバメ
 - 斑点（縦斑）がある：コシアカツバメ
 - 前胸部に首輪模様がある（T字に見えることがある）：ショウドウツバメ
- ・ 色、コントラストは
 - はっきりしている：ツバメ、イワツバメ
 - はっきりしていない：コシアカツバメ、ショウドウツバメ

では、野外に出て、ツバメ類の識別をしよう

観察の場所は、北区では、鴨川の落差工周辺、植物園の樹冠周辺であります。

それは、なぜか、そこには、浮遊昆虫が群れていることが多いからです。

ぜひ、この場所に来てください、9月中旬から10月上旬ですよ。

採餌のときは、昆虫捕食のため、低空を飛翔し、旋回や急激な方向転換をします。そのとき飛翔スピードが落ちるので詳しく観察ができます。

では、種類別の識別点は

1. ツバメは、腹面は白く、尾羽は燕尾であるが尾の両端は接触しない、背面は黒い
 2. コシアカツバメは、一番大きくてスマート、腹面に縦斑がある、尾羽は燕尾であるが長いいため両端が接近（接触）することがある
 3. イワツバメは、小型でずんぐりしている、背面は黒く、腹面は白い（よく見ると汚白）。腰部に大きな白斑がある。尾羽は短く軽く凹型、とても飛翔スピードがある。
 4. ショウドウツバメは、小型で可愛い、スマート、背面は灰褐色で腰部に白斑はない、腹面は白いが、胸部に首輪模様がありT字に見えることがある、尾羽は短く凹型
- と、まず4タイプが識別できます。

肉眼で、双眼鏡で、そこまでの識別ができることがあります。

そして、カメラがあれば、それ以上の違いを見つけ出すことができます。それは、雄か雌か、幼鳥か成鳥かの識別であります。写真機とレンズの進化があるからです。

ツバメ類の雌雄の識別はなかなか困難であります。

春の集団では、成鳥の雌雄を識別するだけでよいのですが、

秋の集団では、今年生まれた幼鳥が多く含まれています。その識別も加わり複雑になります。

しかし、しっかりピントが合えば、それも識別できることがあります。すると、4種類が2倍に3倍に、すなわち雄か雌か、成鳥か幼鳥か、にも識別できるようになるかもしれません。

わたくしは、以前から、飛翔ツバメの写真撮影に挑戦しています。

ここに、その成果を発表させていただきます。

まだこの程度の飛翔写真ですが、発表をお許し願います。

この写真によって、ぐるぐる飛び回っている意味がわかり、なにを食べているのかがわかり、種類まで（顔の違い、体の違い、模様の違いまで）分かります。うれしい限りであります。

まずは、空を見上げたときに見る、ツバメ類の腹面写真4枚

ツバメ 1. コシアカツバメ 2. イワツバメ 3. ショウドウツバメ 4.

(注) 写真右下部に付いている番号は上記の種類番号です
写真は、秋だけではなく、春のものも含まれます



白黒がはっきりしている。燕尾の尾羽はとても長い（雄？）

2012/04/04 1



腹面は白くなく斑点がある、尾羽は特に長く先端は接近している（雄？）

秋に翼の換羽がみられる、成鳥

2015/09/21 2



腹面は白黒がはっきりしている、尾羽は短い、小さくずんぐり？している

2012/04/04 3



腹面は白いが、全体が薄い色彩、尾羽は短く、スマート、可憐ですね

2015/09/03 4

背面です



背面は黒、腰部に斑はない、尾羽は長い（雄？）、尾羽の先端は離れている

2012/03/28 1



背面は黒だが、腰部に赤褐色の斑がある、尾羽は長くその先端は接近、顔の赤と黒がはっきり（雄？）

2015/09/23 2



背面は黒、腰部に白い大きな斑、尾羽は短い、ずんぐりした体

2015/04/08 3



背面は灰褐色、腰部に斑はない、尾羽は短い、体はスマート

2015/09/23 4

浮遊昆虫を採取する場面



尾羽は長い（雄？）

2012/04/04

1



尾羽はそれほど長くない？

2012/03/28

1



腹面は白くなく、斑がある、翼は羽が乱れている 尾羽が長い、成鳥

2015/09/22

2



腹面は薄い、斑がある、尾羽は短い、秋に翼の羽は綺麗にそろっている、幼鳥

2015/09/23

2



2015/04/04 3.



下面は白くないが、陽が当たってないため汚白色に見える

2015/04/08 3



全体が薄い、頸部に帯がある ややスマート

2015/09/22 4

幼鳥について (秋の撮影)



顔の赤黒が薄い、尾羽が短い、翼の羽は綺麗にそろっている

2015/09/23 1



顔部の赤黒が薄い、尾羽は長くみえない

2015/09/22 1



顔や腹部が明るい、尾羽は短い、翼に換羽中のものがなく綺麗

2015/09/22 2



腹面の色が薄い、尾羽は短い、翼の羽が綺麗

2015/09/23 2



イワツバメの幼鳥の識別はとても難しい。成鳥と並んでいるときに識別のチャンスだ。成鳥より色合いが薄い、コントラストが弱いといえる

2003/07/31 3



画像が悪く、これで判断は難しいが、色は薄い、いわゆるコントラストが弱い
翼の羽が綺麗にそろっている。この時期、成鳥は換羽中で翼は乱れている 2005/08/16 3



全体が灰褐色、雨覆いの羽縁に白い部分が認められる、翼は綺麗 2015/09/23 4

雌雄について

雄か雌か、その識別は非常に難しい。そこまで識別することもないとおもうが、ツバメの雄は、外側の尾羽が雌より長いといわれている。



このツバメの尾羽は少し長いようにおもわれる、顔の赤黒がはっきりしている、喉部の黒ははっきりとして大きい、雄であるとおもわれる 2012/04/04 1



同じ時期、同じ場所での撮影 頸部の模様が幅狭く、顔の赤黒も薄く感じられる尾羽が少し短くおもわれ、雌かも？ 2012/04/04 1



色が濃く、尾羽が長い 雄かも？ 翼の羽は換羽中 成鳥 2015/09/22 2

さて、私のツバメの飛翔写真を見るより、自ら野外に出てツバメをみましょう。
そのときの参考になれば、わたくし、とても幸せであります。
では、野外でツバメを見よう。上を向いて、ネ。

終わりに、わたしのお気に入り写真であります。写真でないと、なにをしているのか、どのような顔をしているのか分かりません。写真はそれが分かるのです。では。
識別は各自にて

ツバメ類の飛翔中の可愛い顔を 静止画で見よう



4.



4.



1.



2.



3.



3.



3.



4.



3.



4.



3.



2.



1.



2.



4.



1.



3.

最後まで、ご覧いただきましてありがとうございます。

写真、多すぎたでしょうね

空中飛翔中のツバメを識別するには、まずシルエットを覚えなければなりません。そして、1点だけでも確認できれば識別はそれほど難しいことはありません。

例えば、尾羽が長く両端が接近している、していない

尾羽が短く白黒はっきりしている、していない

このうんざりするほどの多数の写真をご覧になって、ツバメ識別点をつかんでいただけたらとおもっています、また、これを機会にツバメでも観察しようかな、図鑑でも見ようかな、と思っただけだとすれば、わたくしとても幸せであります。

秋には、台風があり、ツバメたちの渡りは、とても大変です。

この執筆中も、台風 18 号が日本列島を通過中です。

ツバメたちの、渡りの無事を祈っております。

2017/ 09/17

自称：野鳥生態観察家

京都野鳥の会 会員

三宅 慶一